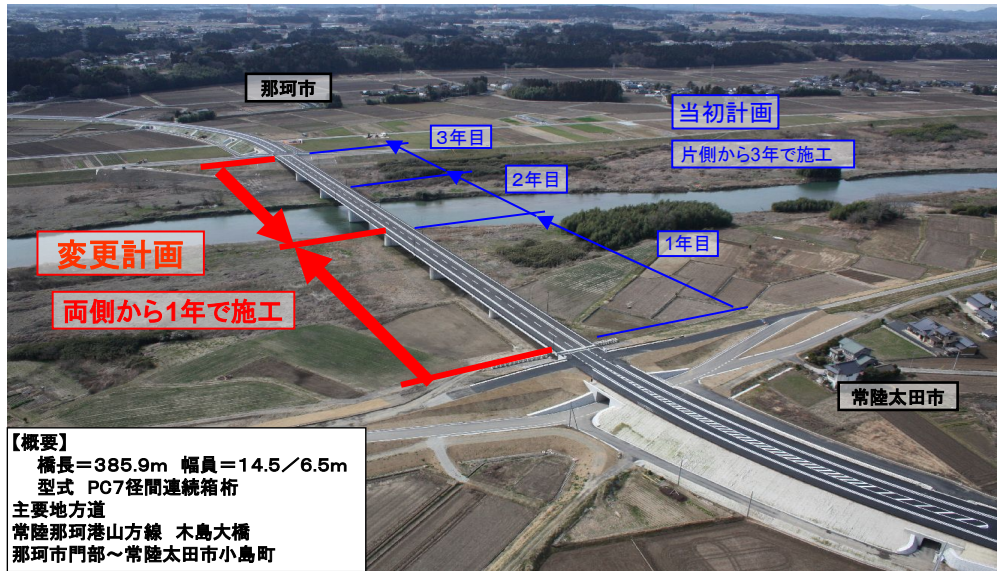


平成14年度と比較して工事コストを**14.2%縮減**！！

—公共事業コスト縮減対策—



【概要】
 橋長=385.9m 幅員=14.5/6.5m
 型式 PG7径間連続箱桁
 主要地方道
 常陸那珂港山方線 木島大橋
 那珂市門部～常陸太田市小島町

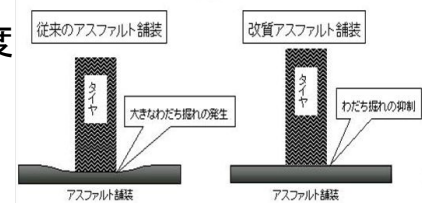
事業の迅速化による事業便益の早期発現 『木島大橋 橋梁上部工事』

- 当初3ヶ年の工事期間で計画していた橋梁の架設工事について、工事期間の短縮を目的とした技術提案を求める総合評価方式を採用した結果、両岸からの同時並行作業などの工事手順の工夫により約1ヶ年で工事を完成させることができました。
- 工事期間短縮（2年間）により、橋梁開通が早まったことの整備効果額は約5億4千万円(H20年度コスト縮減額としては約2億9千万円)になります。

- 平成20年度予算のコスト縮減率を算定した結果、平成14年度(基準年)と比較して、工事コストを**14.2%**(約118億円相当)縮減しました。

主な事例

- 大型車交通量が多い箇所では普通アスファルトより寿命が長い改質アスファルトを使用することにより、初期コストは高くなるものの、将来の維持管理費が削減できます。
- 改質アスファルトは1.8倍程度寿命が長い



- 将来の維持管理費が6億円縮減**

- 軟弱地盤対策工法に新技術を活用することで、施工費削減(重機の小型化による機械損料の削減)
 従来工法 → 新技術の活用 (53,000㎡施工)
 453百万円 → 244百万円
- 209百万円の縮減 縮減率46.1%**

